

# 大阪湾漁場環境速報

平成19年10月11日発行  
兵庫のり研究所

調査船の機器故障により、湾南部の調査点は欠測しました。  
**(水温)** 表層は湾内23~25 台で、平均25.0。平年(過去10年平均24.0)比1.0、昨年(10/12 23.8)比1.2 それぞれ高い。-10m層は平均25.1。表層は、陸水の影響を受けている海域を除いて25 以上の値を示している。  
**(塩分)** 表層平均32.39psu(平年 31.44)。-10m層平均32.54psu(平年 31.99)。  
**(栄養塩、他)** 表層の窒素濃度は平均5.7 $\mu\text{g-at/L}$ 、リン濃度は平均0.73 $\mu\text{g-at/L}$ 。窒素は平年(8.4)より低く、リンは平年(0.62)よりやや高い値を示している。-10m層(平均)は、窒素6.8 $\mu\text{g-at/L}$ 、リン0.77 $\mu\text{g-at/L}$ 。神戸港沖で、数種の珪藻(タラシオネマ、コシノディスカス 他)や渦鞭毛藻等の植物プランクトンがやや多く認められたが、その他の海域ではこれらの発生量は少なかった。湾奥部(St.018)の-10m層では、溶存酸素(DO)が20%台の低い値を示した。透明度は4.0~6.5mで、平均5.4m。pHは表層平均8.08。

上段(今回値)	平成19年10月11日調査
中段(昨年値)	平成18年10月12日調査
下段(平年値)	

調査地点	水温( )	塩分(psu)	三態窒素( $\mu\text{g-at/L}$ )	磷酸( $\mu\text{g-at/L}$ )
04	24.3	32.99	4.7	0.35
	24.2	32.62	5.7	0.50
05	<b>25.2</b>	<b>32.53</b>	<b>5.8</b>	<b>0.76</b>
	24.3	31.85	6.1	0.56
06	24.4	32.18	7.4	0.67
	<b>25.1</b>	<b>32.53</b>	<b>5.9</b>	<b>0.73</b>
07	23.9	31.98	6.8	0.58
	24.2	32.06	7.9	0.67
08	<b>25.2</b>	<b>32.63</b>	<b>6.4</b>	<b>0.76</b>
	24.3	32.20	6.0	0.50
09	24.3	32.13	6.6	0.59
	24.2	32.08	5.0	0.41
10	24.3	32.25	5.6	0.51
	24.3	32.63	3.2	0.29
11	24.2	32.12	5.3	0.50
	24.1	32.12	5.2	0.39
12	24.2	32.07	6.9	0.59
	23.7	31.46	1.3	0.11
13	23.9	30.95	10.7	0.66
	24.3	30.71	20.6	1.02
14	<b>24.1</b>	<b>31.46</b>	<b>4.8</b>	<b>0.65</b>
	22.9	29.19	4.6	0.15
15	23.6	30.13	11.2	0.66
	24.4	29.04	41.9	1.52
16	<b>23.9</b>	<b>31.03</b>	<b>9.9</b>	<b>1.14</b>
	22.6	22.71	51.8	1.44
17	23.5	25.72	51.9	2.72
	<b>25.1</b>	<b>32.57</b>	<b>5.9</b>	<b>0.73</b>
18	23.9	31.96	6.6	0.54
	23.7	31.13	9.8	0.61
S1	<b>25.0</b>	<b>32.47</b>	<b>5.7</b>	<b>0.72</b>
	22.9	30.30	3.1	0.17
S2	23.7	30.81	9.3	0.56
	<b>25.2</b>	<b>32.57</b>	<b>5.7</b>	<b>0.73</b>
S3	24.5	32.14	6.0	0.51
	24.1	31.66	6.6	0.59
S4	24.2	32.70	4.7	0.38
	24.2	32.63	5.3	0.52

